

比叡山～ムササビファミリールート～

【報告者】I井

【日時】2017年11月25日

【天候】晴れ

【参加者】I井、O原

《コースタイム》

13:00 スタート 16:00 終了

《 報 告 》

O原さんの案内に従って橋井ルートを目指しアプローチし、「あのあたりが左方カンテですかね?」と聞くと、「そうです。」と返事。ではここを回り込んだら橋井ルートだな……。と思いながら進んでいくが、なんか雰囲気は想像していたのと違う。目印が出てきてそれをたどっていくと岩の基部に札を発見。ここがルートらしい……。しかし登り終わって公民館に戻って調べてみるとムササビファミリーと判明。

ということでムササビファミリーの報告です。

1P目:湿っぽい凹角を登り右か左か迷うが、プロテクションをセットできそうな方を選択。しかし小さいプロテクションなので慎重にこなし、ハンドサイズのカムをセットしたところではっと一息。そのまま終了点へ。

2P目:橋井ルートのトポと全然違うと思いつつながら、ルート自体はしっかりプロテクションがセットできるので特に難しい印象はなし。

3P目:ブッシュのはずがダブルクラックが出現。先が見えないのでプロテクションを節約しながらクラックを越える。そこから滑り台状のスラブを登ると昔の人工ルートの痕跡が現れる。

4P目:ここでハンガーボルトがでてくる。ここまでボルトを使わずに登ってきたのがびっくり。ボルトを使わない方法を考えるが、他に登れそうに無いので残念だがボルトにクリップ。そのまま登っていくと何か所かボルトあり。

5P目:ここまでトポなしで登れそうな所を登ってこれたが、ここから先は完全なフェースからハング帯となっている。橋井ルートであれば最後までクラックを直上だが、実際はプロテクションをセットできそうな雰囲気ではない。壁の真ん中付近にホールドらしき物が見えるがそこに到達するまでのラインが見いだせない。ここで弱気になってしまい右側のブッシュ帯に入ってトップアウト。もう少し近づいて見てみたらラインが発見できたかも。

公民館に戻ってトポを見ると左にかなりトラバースしてトップアウトしている。そうだったんだと納得。知っているといないとでは感じ方や見方が違うと思うと同時にこれくらいの難易度のルートをトポなしで登るのも面白いと思いました。ルートの内容は良かったので、長さが倍くらいあれば日本でも有数のルートになっていたんだろうなとも思いました。